

主体的な活動を生かした教育 山田小

子ども達の主体的な活動を生かした教育を進めており、教育活動の中に子ども達が活躍する場面を設定しています。特に6年生が学校のリーダーとしていろいろな場面で下級生をリードし頑張っています。

【1年生を迎えて】

1年生を迎える会では、各学年が発表しました。6年生は合奏を披露しました。4月には、6年生が1年生の教室に向いて朝の読み聞かせをしました。



【縦割り班活動】

6年生を中心に班の目標を決めたりレクリエーションをして、今年度の前期縦割り班活動がスタートしました。班長を中心に縦割り班で掃除に取り組んでいます。



【運動会】

子ども達が中心となって取り組みを進めました。応援リーダーが下級生の教室に向いて応援練習をしたり、朝、昼休み、放課後と応援の練習をしました。本番中も下級生の頑張りにエールを送り続けていました。今年も子ども達の頑張りで、素晴らしい運動会になりました。



【主体的に取り組む授業づくり】

児童が、主体的に授業に取り組めるように、本年度導入された、タブレットを活用した授業や自分の考えを発表したり、相手の発表を聞いたりして深め合う対話的な授業の工夫に取り組んでいます。



みんな元気いっぱい! あけぼの保育園



あけぼの保育園では香美市で唯一、月曜日から土曜日、7時から19時までの12時間保育を行っており、198名の子も達が毎日元気いっぱい過ごしています。

保育園では年間を通して心身の健やかな発達をめざし、各年齢に応じた体育あそびをしています。その取り組みの一環として、園全体でリズム運動に取り組んでいます。子ども達は音楽に合わせて体を動かす事をとても喜びます。友達と一緒に楽しく取り組む中で、音楽に合わせて自分を表現し、運動能力の発達や均整のとれた体づくりだけでなく、リズム運動を通して考える力、集中力なども養われています。

5歳児になると竹馬や棒のぼり、とび箱等にも挑戦します。いろいろな事にがんばって取り組む年長児の姿は、園みんなの憧れの存在となっています。

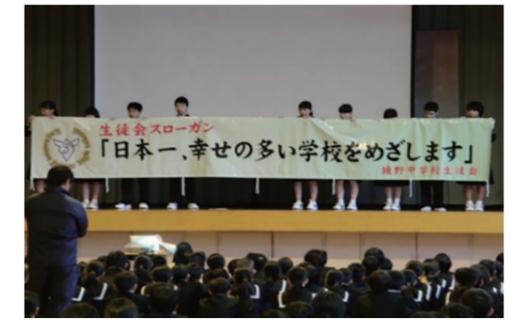
日本一幸せの多い学校 日本一幸せの多い生徒

◆校訓・生徒会スローガン

鏡野中学校の校訓は『自主創造』、生徒会スローガンは『日本一、幸せの多い学校をめざします』となっています。その生徒たちの思いにつながり、令和元年度から学校教育目標と学校運営協議会(CS)の目標も『日本一幸せの多い学校 日本一幸せの多い生徒』となりました。温かい雰囲気をもった学校づくりに取り組んでいる生徒たちの主体的な活動を紹介します。



▲正面玄関にある「自主創造」の石碑



▲生徒会が掲げたスローガン

◆ボランティア活動 (人権のたねを育てる会)

ボランティア活動に取り組んでいます。中庭の植栽、あいさつ運動、トイレ掃除等の校内活動や地域に向いての地域清掃等にも取り組んでいます。その活動の母体が、『人権のたねを育てる会』というボランティア組織です。



▲中庭の植栽



▲あいさつ運動

◆感謝集会

年度末には生徒たちが『感謝集会』を開催しています。1年間を振り返り、仲間や下級生、上級生、教職員への感謝の気持ちを伝える温かい集会となっています。



▲吹奏楽部の演奏

▲感謝の言葉を伝える

◆玄関前のハート

ある秋の日、正門前に、ハート型の葉を見つけました。生徒、教職員、保護者の皆さん、コミュニティスクール、地域の皆さんのご協力をいただきながら、思いやりのあるハートフルな鏡野中学校を目指していきます。

